

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和8年3月1日 9時30分～12時)

注意事項

1. 試験問題の数は128問で解答時間は正味2時間30分です。
2. 解答方法は次のとおりです。
 - (1) 各問題には1から4までの4つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 問題 100 県庁所在地は (例2) 問題 101 県庁所在地はどれか。

どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

2つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

(例1)の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

100	①	②	③	④
100	①	②	●	④

答案用紙②の場合

100	100
①	①
②	②
③	●
④	④

(例2)の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙①の場合

101	①	②	③	④
101	●	②	●	④

答案用紙②の場合

101	101
①	●
②	②
③	●
④	④

記入上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。
良い解答の例……● (濃くマークすること。)
悪い解答の例……⊖ ⊕ ⊗ ⊙ (解答したことにならない。)
- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- ③ (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。
- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 尽己埃成はどれか。

1. 心身の力を最大限に効率的に使い社会に対して善い方向に用いること。
2. 相手を敬い他人他国も共に栄え発展していくこと。
3. 結果を焦らず最後まで諦めずに取り組み成功を待つこと。
4. 道にしたがって勝利をおさめ行いにおいて人を害さないこと。

問題 2 患者とのコミュニケーションで情緒的対応でないのはどれか。

1. 傾 聴
2. 保 護
3. 共 感
4. 支 持

問題 3 療養費が給付されるのはどれか。

1. 病院での手術
2. 保険薬局での調剤
3. 柔道整復師による施術
4. 歯科診療所での治療

問題 4 施術管理者の研修項目に含まれないのはどれか。

1. 職業倫理
2. 混合診療
3. 施術所管理
4. 安全な臨床

問題 5 定型的鎖骨骨折の転位の組合せで正しいのはどれか。

1. 近位骨片は上方 ——— 遠位骨片は短縮
2. 近位骨片は上方 ——— 遠位骨片は後方
3. 近位骨片は前方 ——— 遠位骨片は短縮
4. 近位骨片は前方 ——— 遠位骨片は後方

問題 6 定型的鎖骨骨折で正しいのはどれか。

1. リング固定期間は4週とする。
2. 固定期間中は肩関節可動域訓練を積極的に行う。
3. 約10週で仮骨形成がみられる。
4. 12週で全ての固定を除去する。

問題 7 上腕骨外科頸外転型骨折で正しいのはどれか。

1. 肩峰下に骨頭を触知できない。
2. 肩関節棘下脱臼と類似の外観を呈す。
3. 動脈損傷の有無を鎖骨下動脈の拍動で評価する。
4. 腋窩神経損傷の有無を三角筋部の感覚異常で評価する。

問題 8 上腕骨外科頸外転型骨折の整復で正しいのはどれか。

1. 腹臥位で整復する。
2. 第1助手は肩部を上外方に牽引・固定する。
3. 第2助手は短縮転位を除去する。
4. 術者は遠位骨片操作時に上腕の牽引を緩める。

問題 9 三角筋付着部より遠位の上腕骨骨幹部骨折で正しいのはどれか。

1. 自然下垂位で固定する。
2. ミッテルドルフ三角副子で保持する。
3. 過剰な仮骨が生じやすい。
4. 尺骨神経障害を合併しやすい。

問題 10 コーレス (Colles) 骨折の外観で正しいのはどれか。

1. スコップ型変形
2. 尺骨頭の背側突出
3. 銃剣状変形
4. 手の尺側偏位

問題 11 コーレス (Colles) 骨折整復時の助手への指示で正しいのはどれか。

1. 骨折部からできるだけ離れた位置を把持させる。
2. 術者の牽引に対して前腕部を動揺させないようにする。
3. 遠位骨片を過伸展させる。
4. 近位骨折端を圧迫させる。

問題 12 コーレス (Colles) 骨折の固定はどこまでか。

1. 手関節近位
2. DIP 関節遠位
3. MP 関節近位
4. PIP 関節遠位

問題 13 第5中手骨頸部骨折の固定で正しいのはどれか。

1. PIP 関節は軽度屈曲位とする。
2. 手関節は軽度屈曲位とする。
3. 前腕近位 1/3 から固定する。
4. 固定期間は7週とする。

問題 14 肋骨骨折の絆創膏屋根瓦状固定で正しいのはどれか。

1. 胸部全周に貼布する。
2. 順次下方に向かって貼布する。
3. 最大吸気時に貼布する。
4. 約5cm幅の絆創膏を用いる。

問題 15 肩鎖関節上方脱臼で正しいのはどれか。

1. 高齢者に多い。
2. 鎖骨近位端が突出する。
3. 肩関節の外転が制限される。
4. 頸神経叢の損傷を合併する。

問題 16 肩鎖関節上方脱臼の整復で助手が行う患側上肢の牽引方向はどれか。

1. 前上方
2. 前下方
3. 後上方
4. 後下方

問題 17 肩関節烏口下脱臼が反復性になる要因はどれか。

1. 大結節骨折
2. 腋窩神経麻痺
3. 前方関節窩損傷
4. 上方関節唇損傷

問題 18 肩関節烏口下脱臼に対するステイムソン法で正しいのはどれか。

1. 約 30 分間重錘牽引する。
2. 重錘の重さは約 10 kg とする。
3. 重錘牽引中に肩関節を軽度内・外転させる。
4. 重錘を落とさないようにしっかり把持させる。

問題 19 肩関節烏口下脱臼の固定で正しいのはどれか。

1. 固定期間は 6 週とする。
2. 肘部に枕子を当てる。
3. 鎖骨上神経の感覚障害に注意する。
4. 麦穂帯で上腕を体幹に固定する。

問題 20 肘関節後方脱臼整復後の確認で誤っているのはどれか。

1. 肘部に異常な疼痛を訴えていないか。
2. 上腕三頭筋の索状変形は消失したか。
3. 肘関節の完全伸展は可能か。
4. 橈骨動脈の拍動は正常か。

問題 21 肘関節後方脱臼の固定肢位で正しいのはどれか。

1. 肩関節外旋位、前腕中間位
2. 肩関節外旋位、前腕回外位
3. 肩関節内旋位、前腕中間位
4. 肩関節内旋位、前腕回外位

問題 22 肘内障で正しいのはどれか。

1. 肘引っ張り症候群とも呼ばれる。
2. 前腕に回外力が加わり発生する。
3. 輪状靭帯は橈骨頭の遠位に移動する。
4. 全身弛緩性が低いことは危険因子の1つである。

問題 23 棘上筋腱不全断裂の疼痛部位はどれか。

1. 大結節部
2. 小結節部
3. 結節間溝部
4. 肩甲棘上窩部

問題 24 肩腱板損傷の検査はどれか。

1. スピードテスト
2. サルカス徴候
3. クレピタス
4. ヤーガソンテスト

問題 25 肩甲下筋の損傷で陽性となるのはどれか。

1. ドロップアームテスト
2. 有痛弧徴候
3. インピンジメント徴候
4. リフトオフテスト

問題 26 上腕二頭筋長頭腱損傷で正しいのはどれか。

1. 肩関節内旋動作を繰り返すと発生しやすい。
2. 上腕骨大結節との摩擦によって生じる。
3. 中高年では発生頻度が高まる。
4. 若年では遠位筋腱移行部での損傷が多い。

問題 27 大腿四頭筋肉離れが生じやすい肢位はどれか。

1. 股関節屈曲位、膝関節屈曲位
2. 股関節屈曲位、膝関節伸展位
3. 股関節伸展位、膝関節屈曲位
4. 股関節伸展位、膝関節伸展位

問題 28 膝関節内側側副靭帯損傷で正しいのはどれか。

1. 非接触型損傷が多い。
2. 膝部に内反力が強制されて生じる。
3. 単独損傷では膝くずれ現象が著明である。
4. 嵌頓症状があれば半月板損傷の合併を疑う。

問題 29 膝関節内側側副靭帯損傷の徒手検査法はどれか。

1. Nテスト
2. シモンズテスト
3. グラスピングテスト
4. アプライテスト

問題 30 前十字靭帯損傷で正しいのはどれか。

1. 非接触型は若年女性に多い。
2. 急性期では関節水症による腫脹が著明である。
3. 骨挫傷の結果生じる。
4. 確定診断には単純エックス線写真が必要である。

問題 31 膝関節半月板損傷で正しいのはどれか。

1. 外側半月板損傷が多い。
2. 外側側副靭帯損傷を合併することが多い。
3. 高齢者では円板状半月が背景にある。
4. 膝関節屈曲時に下腿回旋が加わり発生する。

問題 32 膝関節半月板損傷の検査法で膝屈曲角度が最も大きいのはどれか。

1. ボウストリングテスト
2. ステインマンテスト
3. マックマレーテスト
4. ワトソン・ジョーンズテスト

問題 33 下腿三頭筋肉離れで正しいのはどれか。

1. テニスレッグとも呼ばれる。
2. 腓腹筋内側頭の筋腹に好発する。
3. 青年期に好発する。
4. 疼痛はアキレス腱断裂に比べ軽微である。

問題 34 下腿三頭筋肉離れの疼痛誘発テストで抵抗を加える部位はどれか。

1. 下腿遠位部前面
2. 下腿遠位部後面
3. 足背部
4. 足底部

問題 35 アキレス腱断裂の固定で正しいのはどれか。

1. 免荷は不要である。
2. 自然下垂位で固定する。
3. 初期の固定肢位を維持する。
4. 4～5週で固定を除去する。

問題 36 足関節外側靭帯損傷で正しいのはどれか。

1. 足部の内がえしで発生する。
2. 後距腓靭帯の単独損傷が多い。
3. 足関節中間位での不安定性は前距腓靭帯の断裂を疑う。
4. 外反動揺検査は有効な指標である。

問題 37 足関節外側靭帯損傷の治療で正しいのはどれか。

1. II度損傷では約5週の固定が必要である。
2. III度損傷では約8週の固定が必要である。
3. 後療法では腓骨筋群の強化を図る。
4. 足趾の運動は固定除去後に行う。

問題 38 下腿骨骨幹部骨折で使用されるのはどれか。

1. 長下肢装具
2. 靴型金属支柱付短下肢装具
3. プラスチック型短下肢装具
4. PTBキャスト

問題 39 三角巾で正しいのはどれか。

1. 辺の長さは「端と端」より「端と頂点」が長い。
2. 形状は一般的に正三角形である。
3. 提肘で三角巾の頂点は肘部にある。
4. 提肘で頸部の結びは正中部にする。

問題 40 屈伸運動をする関節に用いるのはどれか。

1. 螺旋帯
2. 亀甲帯
3. 蛇行帯
4. 折転帯

問題 41 医療過誤はどれか。

1. 患者が病院内の廊下で転倒した。
2. 患者が注射用量の取違えで死亡した。
3. 看護師が投薬前に薬剤の取違えに気が付いた。
4. 医師が個人情報をも洩した。

問題 42 社会保険制度でないのはどれか。

1. 医療保険
2. 年金保険
3. 労災保険
4. 生命保険

問題 43 柔道整復師の名簿を登録するのはどれか。

1. 保健所
2. 市町村
3. 都道府県
4. 厚生労働省(指定登録機関)

問題 44 柔道整復師の免許で正しいのはどれか。

1. 現住所が記載されている。
2. 合格証書が免許証になる。
3. 免許の更新が必要である。
4. 外国人も免許を取得できる。

問題 45 柔道整復師の業務で正しいのはどれか。

1. 名称独占である。
2. 反復継続の意思をもって施術をする。
3. 繰り返しの施術が必要である。
4. 同意は歯科医師でもかまわない。

問題 46 施術所に対する立入検査で正しいのはどれか。

1. 労働基準監督署が管轄する。
2. 令状が必要である。
3. 構造設備のみが対象である。
4. 拒み、妨げた者は30万円以下の罰金に処せられる。

問題 47 応招義務が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 医師法
3. 刑法
4. 柔道整復師法

問題 48 資格と業務の組合せで正しいのはどれか。

1. 歯科技工士 ————— 診療の補助
2. 理学療法士 ————— 電気刺激
3. 臨床工学技士 ————— MRI 検査
4. 診療放射線技師 ————— 心電図

問題 49 医療法の医療提供理念で正しいのはどれか。

1. 疾病予防
2. 自立支援
3. ノーマライゼーション
4. コンプライアンス

問題 50 医療法に規定されていないのはどれか。

1. 病院
2. 助産所
3. 老人福祉センター
4. 介護老人保健施設

問題 51 細胞活動に必要なエネルギーを供給する物質を産生するのはどれか。

1. 滑面小胞体
2. 粗面小胞体
3. リソソーム
4. ミトコンドリア

問題 52 上皮に線毛がみられるのはどれか。

1. 口腔
2. 食道
3. 気管
4. 尿管

問題 53 骨で正しいのはどれか。

1. 関節面は滑膜で覆われている。
2. 長さの成長は骨幹部で行われる。
3. 骨質は緻密質と海綿質からなる。
4. フォルクマン管は骨層板の中心を通る。

問題 54 関節と分類の組合せで正しいのはどれか。

1. 肩関節 ————— 蝶番関節
2. 股関節 ————— 臼状(球)関節
3. 膝関節 ————— 平面関節
4. 椎間関節 ————— 橢円関節

問題 55 下顎骨の挙上に作用しないのはどれか。

1. 咬筋
2. 側頭筋
3. 外側翼突筋
4. 内側翼突筋

問題 56 第1中手骨と関節するのはどれか。

1. 舟状骨
2. 三角骨
3. 有頭骨
4. 大菱形骨

問題 57 肩関節を内旋させるのはどれか。

1. 棘上筋
2. 棘下筋
3. 小円筋
4. 肩甲下筋

問題 58 上腕骨体に停止するのはどれか。

1. 上腕筋
2. 烏口腕筋
3. 上腕二頭筋
4. 上腕三頭筋

問題 59 心臓で正しいのはどれか。

1. 僧帽弁は3尖である。
2. 上大静脈は左心房に入る。
3. 卵円窩は心室中隔にある。
4. 肺動脈幹は右心室から出る。

問題 60 血管が直接つながるのはどれか。

1. 肝静脈 → 門脈
2. 脾静脈 → 下大静脈
3. 橈側皮静脈 → 橈骨静脈
4. 大伏在静脈 → 大腿静脈

問題 61 胃の頭側端に位置するのはどれか。

1. 胃体部
2. 胃底部
3. 噴門部
4. 幽門部

問題 62 十二指腸の部位で正しい走行順はどれか。

1. 上 部 → 下行部 → 水平部 → 上行部
2. 上 部 → 水平部 → 下行部 → 上行部
3. 下行部 → 上 部 → 上行部 → 水平部
4. 水平部 → 上 部 → 下行部 → 上行部

問題 63 呼吸器系で正しいのはどれか。

1. 気管は食道の後方に位置する。
2. 右主気管支は左主気管支よりも太い。
3. 肺尖は横隔膜に接する。
4. 肺の栄養血管は肺動脈である。

問題 64 縦隔後部にないのはどれか。

1. 胸 管
2. 食 道
3. 横隔神経
4. 胸大動脈

問題 65 泌尿器系で正しいのはどれか。

1. 腎臓は第 12 肋骨の前方に位置する。
2. 尿管には 2 か所の生理的狭窄部がある。
3. 女性では膀胱の後方に直腸が接する。
4. 成人男性では尿道の長さは 3 ～ 4 cm である。

問題 66 ネフロンに含まれるのはどれか。

1. 腎 杯
2. 腎小体
3. 腎錐体
4. 腎乳頭

問題 67 男性生殖器で正しいのはどれか。

1. 精嚢は精子を貯留する。
2. 精子は精細管で作られる。
3. 前立腺はホルモンを分泌する。
4. セルトリ細胞は精上皮の一部である。

問題 68 卵管で受精が行われる部位はどれか。

1. 漏 斗
2. 膨大部
3. 峡 部
4. 子宮部

問題 69 内分泌器官とホルモンの組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体前葉 ————— オキシトシン
2. 下垂体後葉 ————— バゾプレッシン
3. 甲状腺 ————— プロラクチン
4. 上皮小体(副甲状腺) ——— 糖質コルチコイド

問題 70 カルシトニンを分泌するのはどれか。

1. 松果体
2. 甲状腺
3. 上皮小体(副甲状腺)
4. 副腎皮質

問題 71 脳幹に含まれるのはどれか。

1. 脊 髄
2. 延 髄
3. 小 脳
4. 大 脳

問題 72 大脳皮質と機能局在の組合せで正しいのはどれか。

1. 運動野 ————— 前頭葉
2. 視覚野 ————— 頭頂葉
3. 体性感覚野 ——— 側頭葉
4. 感覚性言語野 ——— 後頭葉

問題 73 中脳の背側面から出るのはどれか。

1. 動眼神経
2. 滑車神経
3. 三叉神経
4. 外転神経

問題 74 陰部神経を構成するのはどれか。

1. 第1～2腰神経
2. 第2～4腰神経
3. 第1～2仙骨神経
4. 第2～4仙骨神経

問題 75 副交感神経はどれか。

1. 下腹神経
2. 大内臓神経
3. 小内臓神経
4. 骨盤内臓神経

問題 76 涙腺が位置するのはどれか。

1. 眼球の上外側
2. 眼球の上内側
3. 眼球の下外側
4. 眼球の下内側

問題 77 耳管が開口する部位はどれか。

1. 外 耳
2. 内 耳
3. 上咽頭
4. 下咽頭

問題 78 タバチエール(解剖学的嗅ぎタバコ入れ)を構成するのはどれか。

1. 総指伸筋
2. 示指伸筋
3. 長母指伸筋
4. 長橈側手根伸筋

問題 79 動脈で拍動を触れないのはどれか。

1. 椎骨動脈
2. 腋窩動脈
3. 大腿動脈
4. 足背動脈

問題 80 エックス線減弱係数(CT 値)が0となるのはどれか。

1. 水
2. 空 気
3. 骨
4. 脂 肪

問題 81 ゴルジ装置の機能はどれか。

1. ATP の産生
2. 老廃物の分解
3. 分泌顆粒の生成
4. ステロイドホルモンの合成

問題 82 筋原線維でミオシンフィラメントのみで構成されるのはどれか。

1. A 帯
2. H 帯
3. I 帯
4. Z 膜

問題 83 神経伝導速度が最も遅いのはどれか。

1. 侵害受容器からの求心性線維
2. 温受容器からの求心性線維
3. 筋紡錘からの求心性線維
4. 骨格筋への遠心性線維

問題 84 ノルアドレナリンを分泌するのはどれか。

1. 交感神経の節前線維
2. 交感神経の節後線維
3. 副交感神経の節前線維
4. 副交感神経の節後線維

問題 85 知覚を統合し空間認知に関与するのはどれか。

1. 前頭連合野
2. 頭頂連合野
3. 側頭連合野
4. 後頭連合野

問題 86 膝蓋腱反射に関与しないのはどれか。

1. 大腿四頭筋
2. 筋紡錘
3. III群線維
4. α 運動ニューロン

問題 87 一次運動野の最も外側が対応している身体部位はどれか。

1. 顎
2. 手指
3. 体幹
4. 足首

問題 88 視床を経由しない感覚情報はどれか。

1. 嗅覚
2. 視覚
3. 聴覚
4. 味覚

問題 89 ペプチドホルモンの受容体が存在するのはどれか。

1. 核
2. 細胞質
3. 細胞膜
4. ミトコンドリア

問題 90 乳汁の産生を促進するのはどれか。

1. 成長ホルモン
2. プロラクチン
3. 性腺刺激ホルモン
4. 副腎皮質刺激ホルモン

問題 91 胎盤から分泌されないのはどれか。

1. エストロゲン
2. プロゲステロン
3. 卵胞刺激ホルモン
4. ヒト絨毛性ゴナドトロピン

問題 92 血漿タンパク質と機能の組合せで正しいのはどれか。

1. アルブミン ————— 膠質浸透圧の維持
2. β グロブリン ————— 血液の凝固
3. γ グロブリン ————— 物質の運搬
4. フィブリノゲン ————— 免疫の制御

問題 93 血液凝固で外因系の起点となるのはどれか。

1. 血小板
2. トロンビン
3. プラスミン
4. 組織トロンボプラスチン

問題 94 自然免疫はどれか。

1. 貪食
2. 免疫記憶
3. 抗体産生
4. 細胞性免疫

問題 95 骨端線で正しいのはどれか。

1. 骨吸収に関与する。
2. 一次骨化中心となる。
3. 成人になると閉鎖する。
4. 緻密骨の厚さに関与する。

問題 96 心周期の等容性収縮期で正しいのはどれか。

1. P波が発生している。
2. 第Ⅱ心音が聞かれる。
3. 房室弁が閉鎖している。
4. 動脈圧は心室圧と等しい。

問題 97 細動脈を拡張させるのはどれか。

1. アンジオテンシンⅡ
2. エンドセリン
3. 心房性ナトリウム利尿ペプチド
4. バゾプレッシン

問題 98 安静吸息時に収縮するのはどれか。

1. 肺
2. 横隔膜
3. 胸膜
4. 内肋間筋

問題 99 自発呼吸の中樞が位置するのはどれか。

1. 延髄
2. 小脳
3. 大脳皮質
4. 視床下部

問題 100 塩分の過剰摂取時に起こるのはどれか。

1. 体液量の増加
2. 血漿浸透圧の低下
3. レニンの分泌亢進
4. 心房性ナトリウム利尿ペプチドの分泌抑制

問題 101 二糖類はどれか。

1. ガラクトース
2. グルコース
3. スクロース
4. フルクトース

問題 102 唾液に含まれる消化酵素はどれか。

1. アミラーゼ
2. キモトリプシン
3. ペプシン
4. リパーゼ

問題 103 胃液の分泌を抑制するのはどれか。

1. アセチルコリン
2. ガストリン
3. セクレチン
4. ヒスタミン

問題 104 熱放散でないのはどれか。

1. 蒸 発
2. 伝 導
3. 輻 射
4. ふるえ

問題 105 高齢者の睡眠で正しいのはどれか。

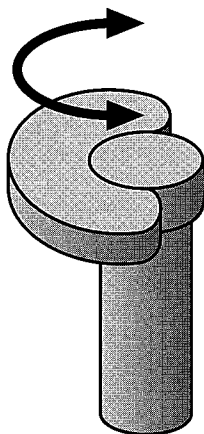
1. 中途覚醒が減少する。
2. レム睡眠の割合が減少する。
3. 日内リズムが後ろにずれる。
4. 深い睡眠(徐波睡眠)が増加する。

問題 106 第1のてこの構造を持つのはどれか。

1. 上腕二頭筋による肘関節屈曲
2. 腕橈骨筋による肘関節屈曲
3. 中殿筋による片脚立位
4. ハムストリングスによる膝関節屈曲

問題 107 図で示す関節はどれか。

1. 鞍関節
2. 車軸関節
3. 蝶番関節
4. らせん関節



問題 108 正常成人の四肢末梢運動神経の伝導速度はどれか。

1. 約 50 cm/sec
2. 約 5 m/sec
3. 約 50 m/sec
4. 約 200 m/sec

問題 109 伸張反射で正しいのはどれか。

1. 単シナプス反射である。
2. 反射中枢は延髄にある。
3. 逃避反射とも呼ばれる。
4. 成長に伴い消失する。

問題 110 筋と母指の関節運動の組合せで正しいのはどれか。

1. 長母指屈筋 ————— 橈側外転
2. 長母指伸筋 ————— 尺側内転
3. 短母指外転筋 ————— 掌側外転
4. 母指対立筋 ————— 掌側内転

問題 111 膝関節の屈曲時に緊張するのはどれか。

1. 内側側副靭帯
2. 外側側副靭帯
3. 後十字靭帯
4. 前十字靭帯

問題 112 頸椎の回旋運動の大部分を担うのはどれか。

1. 第1頸椎～第2頸椎
2. 第3頸椎～第4頸椎
3. 第4頸椎～第5頸椎
4. 第5頸椎～第6頸椎

問題 113 人体の重心で正しいのはどれか。

1. 新生児では臍よりも高い。
2. 成人では仙骨のやや後方にある。
3. 成人では女性よりも男性の方が低い。
4. 大腿の重心は中央よりも遠位側にある。

問題 114 自然歩行の歩行周期で立脚相が占める比率はどれか。

1. 20 %
2. 40 %
3. 60 %
4. 80 %

問題 115 踵打ち歩行が特徴的なのはどれか。

1. 痙直型脳性麻痺
2. 両側性小脳性障害
3. パーキンソン(Parkinson)症候群
4. 脊髄性運動失調

問題 116 病理検体の採取時に用いる固定液はどれか。

1. キシレン
2. ホルマリン
3. パラフィン
4. エオジン

問題 117 循環障害はどれか。

1. 壊死
2. 梗塞
3. 肉芽
4. 転移

問題 118 女性に多いのはどれか。

1. 胆嚢癌
2. 胆管癌
3. 肝細胞癌
4. 肝内胆管癌

問題 119 疾患・症状と原因の組合せで正しいのはどれか。

1. ウィルソン(Wilson)病 ———— 鉄過剰
2. ヘモクロマトーシス ———— 銅過剰
3. 高血圧 ————— ナトリウム不足
4. テタニー ————— カルシウム不足

問題 120 1型糖尿病で障害される膵臓の細胞はどれか。

1. A(α)細胞
2. B(β)細胞
3. 腺房細胞
4. 膵管上皮細胞

問題 121 充血の原因とならないのはどれか。

1. 細菌感染
2. 温熱
3. アルコール摂取
4. ギプス固定

問題 122 漏出性出血が起こるのはどれか。

1. 大動脈
2. 腎動脈
3. 消化管毛細血管
4. 下大静脈

問題 123 慢性炎症で円柱上皮が扁平上皮に変化する現象はどれか。

1. 萎縮
2. 化生
3. 再生
4. 過形成

問題 124 急性炎症の指標となる細胞はどれか。

1. マクロファージ
2. 形質細胞
3. 好中球
4. リンパ球

問題 125 I型アレルギーに関与するのはどれか。

1. IgG
2. IgM
3. IgA
4. IgE

問題 126 後天性免疫不全症候群(AIDS)で正しいのはどれか。

1. 細菌感染が原因となる。
2. 液性免疫系が障害される。
3. ヘルパー(CD4⁺)T細胞が選択的に傷害される。
4. 感染直後に抗体が陽性になる。

問題 127 悪性腫瘍はどれか。

1. 横紋筋腫
2. 骨肉腫
3. 神経線維腫
4. 血管腫

問題 128 胃癌で正しいのはどれか。

1. 罹患者は女性に多い。
2. 年齢調整死亡率は増加している。
3. ヘリコバクター・ピロリ感染が発癌に関与する。
4. 肉眼型分類1型は早期胃癌とされる。

